

訪日外国人による夜の賑わいを分析 ～名古屋市のナイト観光率を把握～

活用分野

観光

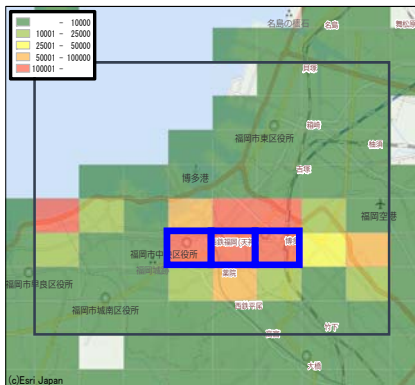
分析内容及び結果

概要

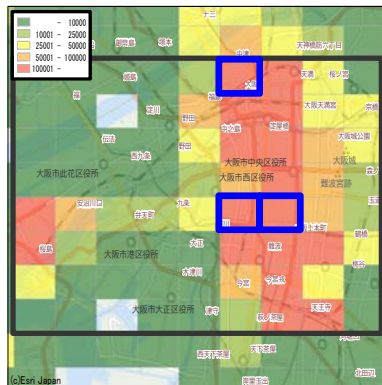
名古屋駅周辺における訪日外国人のナイト観光率を把握。訪日外国人における名古屋の夜の賑わいが、他の日本の都市と比較するため、大阪・福岡も同じ手法で実施

- ・訪日外国人の来訪が多い7月～9月の夜間（18:00-翌2:00）名古屋における訪日外国人の滞留状況を把握。
- ・その上で、滞留人数が多い3メッシュについて、総滞在者数と6時間以上の滞在（宿泊と定義）を算出し、6時間以上の滞在ではない滞在者を観光客と定義し、ナイト観光率を算出。
- ・名古屋と近い、もしくは同等の都市規模である大阪・福岡についても同様の分析を実施。

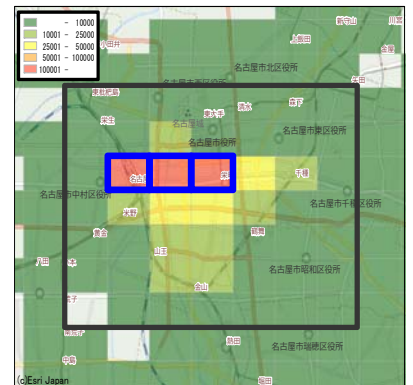
福岡地区



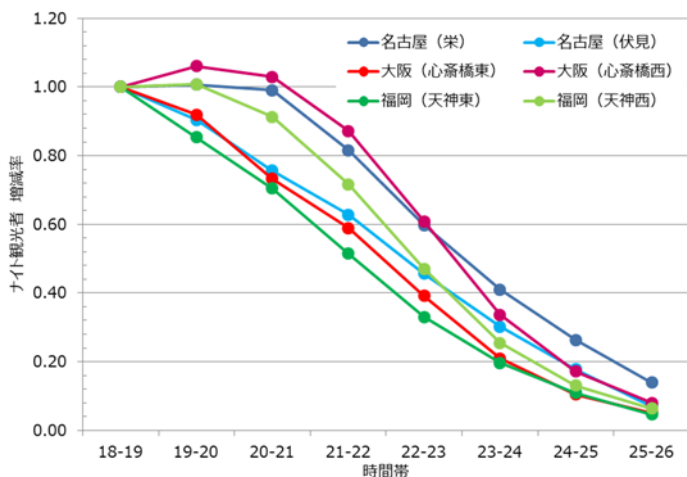
大阪地区



名古屋地区



大阪や福岡に比較し、名古屋は面的広がりが少ない



大阪や福岡に比較し、ナイト観光率（訪日外国人の総滞在者に対する、観光者の割合）は若干少ない傾向はあるが、“夜が早い”とは言えない

背景

都市での宿泊滞在において、ナイト観光の充実が魅力の一つに上げられているが、名古屋は一般的に“夜が早い”と言われており、夜が早いイメージは、観光振興を図るうえでマイナスイメージにつながる事となる。

近年、訪日外国人（インバウンド）が急増している中で、名古屋の訪日外国人におけるナイト観光の実態の把握、また名古屋と近い、もしくは同等の規模である大阪・福岡についても同等の分析を行い、宿泊滞在における課題の整理を行った。

分析に用いたデータ

- 時間解像度：7ヶ月間のデータを活用
- 空間解像度：1km メッシュ
- 1時間毎に総滞在者数と6時間以上の滞在（宿泊と定義）を算出し、6時間以上の滞在ではない滞在者を観光客と定義し、ナイト観光率を算出

課題等

- 滞在している訪日外国人が観光目的で滞在しているか。
- 1km メッシュではあるが、その中の施設等の特定が不可能。

分析の体制

発注機関：国土交通省 中部運輸局観光部観光地域振興課

受注機関：株式会社サーベイリサーチセンター

紹介論文・掲載記事等

株式会社サーベイリサーチセンター 高野精久：人口分布統計の活用事例～訪日外国人の状況把握と観光客実態調査～<<http://www.nilim.go.jp/lab/qbg/houkokukai/pdf/06takano.pdf>>，2018.6.

担当者（問合せ先）

株式会社サーベイリサーチセンター 調査部 高野精久

E-mail：takano_k{at}surece.co.jp Tel：03-3802-6715

※上記 E-mail は、「{at}」を「@」に変更して送信して下さい